

アプリストアの規約・審査方針の内容、規約の遵守状況の調査

令和6年4月16日

株式会社日本総合研究所 リサーチ・コンサルティング部門

調査内容・手法の概観

調査項目		調査項目詳細	調査方法
①アプリ提供者向けの規約・ガイドラインの記載内容		<ul style="list-style-type: none"> 以下のような規約を整理 <ul style="list-style-type: none"> ▶ プライバシーポリシーに関する規約 ▶ アプリ紹介ページやアプリ内での通知方法に関する規約 ▶ データの収集・保存・使用共有に関する規約 ▶ 特定の条件に該当するアプリに対する規約 ▶ アプリの審査に関する規約、違反アプリに対する罰則に関する規約 	<ul style="list-style-type: none"> Google、Appleの以下の規約を整理 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 【Google】デベロッパープログラムポリシー ▶ 【Google】デベロッパー販売/配布契約 ▶ 【Apple】Apple Developer Program使用許諾契約 ▶ 【Apple】App Store Reviewガイドライン
②アプリケーションの利用者情報の取扱いに関する具体的な取組み		<ul style="list-style-type: none"> 「スマートフォン プライバシー アウトルックIX」での調査実施時期以降（2022年3月以降）の以下のような内容を調査 <ul style="list-style-type: none"> ▶ Google、Appleが対外的に公表している利用者情報の取扱いに関する規制や取組み ▶ Android・iOS等の機能のアップデート内容（利用者情報の取扱いに関する内容のみ） 	<ul style="list-style-type: none"> 下記のような情報ソースから情報を取得 <ul style="list-style-type: none"> ▶ Google、Appleのニュースリリース
③上記項目の実態	実際の審査方法	<ul style="list-style-type: none"> 利用者情報の取扱いに関する実際の審査方法の詳細を調査 	<ul style="list-style-type: none"> 下記のような情報ソースから情報を取得 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 各種ニュース記事や有識者の発言 ▶ アプリ開発者の開発ブログ ▶ 有識者ヒアリング
	アプリストアにおける通知とアプリケーション内における通知方法	<ul style="list-style-type: none"> 各アプリストア及びOSに標準として備わっているアプリ紹介ページやアプリ内での利用者情報の取扱いに関する通知方法 	<ul style="list-style-type: none"> 両方のアプリストアで公開されているアプリの紹介ページやアプリ内でのポップアップの内容等をサンプル調査

調査結果の総括

前回調査（2022年1月）以降の主要な利用者情報の取扱いに関する規約変更・追加や新しい仕組みの導入は下記のとおりであり、「アカウント削除要件の追加」や「プライバシーマニフェスト」の導入はこれまでの調査ではなかった内容である。

※前回調査：2022年1月

前回の調査結果から追加変更された規約や取組	規約・取組の概要	Google・Appleの対応状況	
		Google	Apple
プライバシーの設置義務化（規約変更）	<ul style="list-style-type: none"> Googleが利用者情報の取得有無にかかわらず、全てのアプリを公開する場合にプライバシーポリシーの設置の義務付け 	2022年7月から	前回調査時から対応済み
アカウント削除要件の追加	<ul style="list-style-type: none"> Google・Appleともに、アプリにアカウント作成機能を作成する場合には、アカウント削除機能を必須とする要件を追加 	2023年4月から	2022年6月
目的外利用の禁止	<ul style="list-style-type: none"> Googleがガイドラインに「ユーザーが合理的に予期する目的に適合するアプリとサービスの機能、およびポリシーにのみ許可する」と明確化 	2024年3月から	前回調査時から対応済み
健康・フィットネス・医療データを取得するアプリに対する規約追加（特定の条件に該当するアプリに対する規制強化）	<ul style="list-style-type: none"> Googleが健康・フィットネス・医療データを取得するアプリに対する規約を追加（アプリ内へのプライバシーポリシーの掲載義務、アプリのコア機能と健康関連データの収集との関連性をユーザーに明確に示す義務など） 	2024年5月から	前回調査時から対応済み
アイコン等でデータ収集・共有方針の義務化	<ul style="list-style-type: none"> Googleが「データセーフティセクション」開示の義務化 	2022年7月から	前回調査時から対応済み
アプリ内に記載されているAPIの内容をベースにした取得情報と目的の記載の義務化	<ul style="list-style-type: none"> Appleがアプリ開発者に完全な透明性を提供するように設計されているプライバシー機能「プライバシーマニフェスト」を導入し、アプリ申請・更新時に提出の義務化 	*** (未対応)	2024年5月

3.アプリストアの規約・審査方針の内容、規約の遵守状況の調査

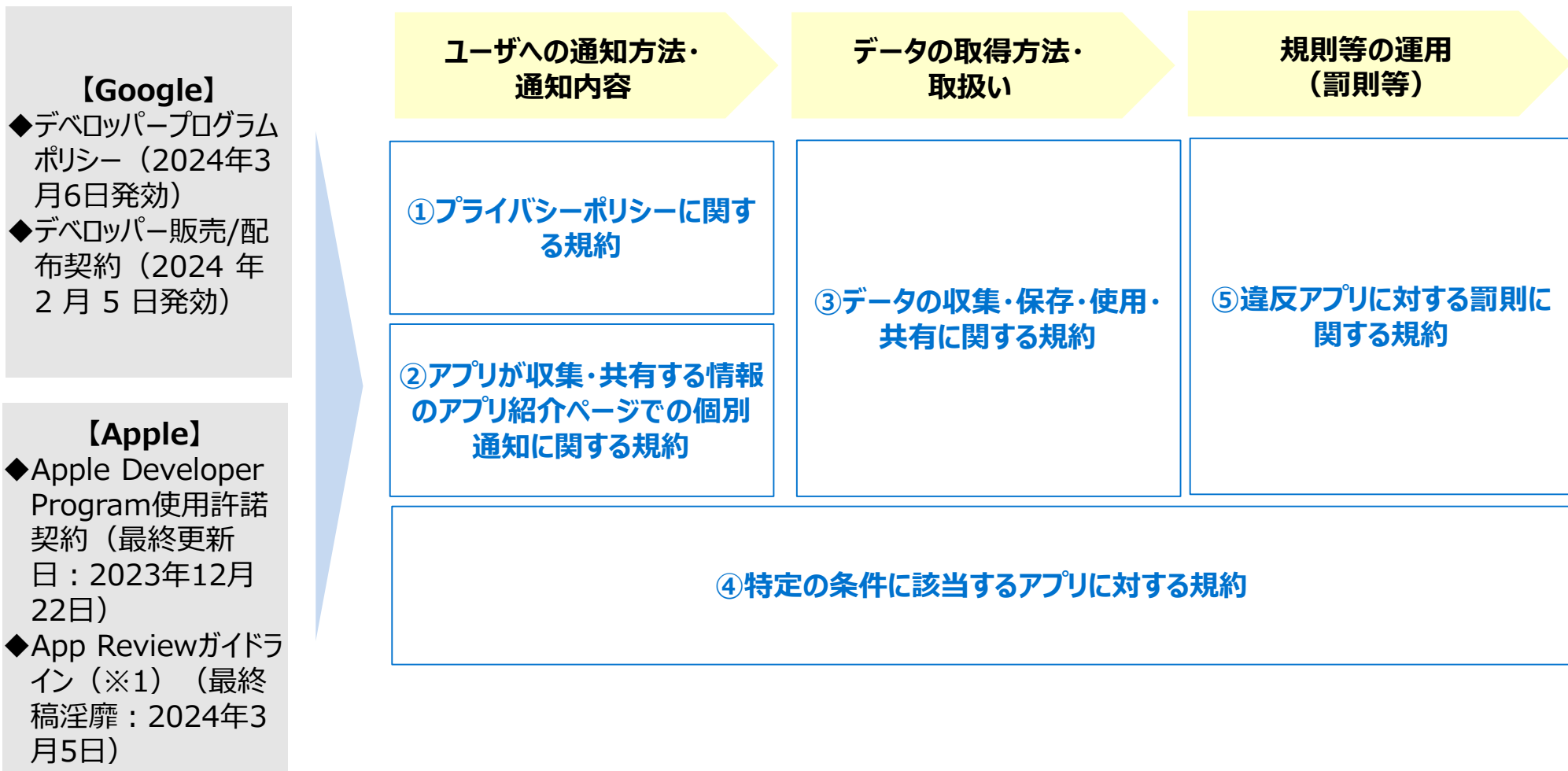
3-1.アプリ提供者向けの規約・ガイドラインの記載内容

3-2.アプリケーションの利用者情報の取扱いに関する具体的な取組み

3-3.実際の審査状況

アプリマーケット運営事業者の規約等の整理 ～整理の枠組み～

AppleまたはGoogleで公開されているデベロッパプログラム、ガイドライン等を参照し、アプリユーザデータの取扱いを以下の視点で分析した。



※1 「App Storeでのアプリのプライバシーに関する詳細情報の表示」は厳密には「App Reviewガイドライン」に記載されていないが、「App Storeでのアプリのプライバシーに関する詳細情報の表示」を掲載している同ウェブページにアプリ公開申請時に必要と記載があるため、ガイドラインの一部とみなして記載

①プライバシーポリシーに関する規約

AppleおよびGoogleで公開されるアプリにはそれぞれ遵守すべき規約が定められており、2022年7月より、Appleに続いてGoogleでも、アプリを公開する場合にプライバシーポリシーの設置が義務付けられた。

赤字：2022年1月からの変更点

項目		Google (デベロッパープログラムポリシーより抜粋)	Apple (App Reviewガイドラインより抜粋)	
プライバシーポリシー	対象	すべてのアプリ	すべてのアプリ	
	設置義務	あり (2022年7月より義務化)	あり (2018年10月より義務化)	
	記載場所	Google Playの各アプリページとアプリ内の両方	App Storeの各アプリページと各アプリ内の両方	
	必須記載項目	収集するデータの種類	必須	必須
		データの収集方法	必須	必須
		収集するデータの用途	必須	必須
		共有するデータと共有先	必須	必須
データ保存/削除のポリシー		必須	必須	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ◆ アプリの主体を明記、もしくはアプリ名を明記 ◆ 連絡先または問合せ方法 ◆ ユーザの個人情報や機密情報を安全に処理するための手順 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ ユーザが同意を無効にする方法やユーザデータの削除をリクエストする方法 		

②アプリが収集・共有する情報のアプリ紹介ページでの個別通知に関する規約

2020年12月にAppleが、アプリで収集するデータをアプリ紹介ページで公開義務化したのに続き、2022年7月にGoogleでも公開が必須となった。収集するデータの種類・用途はどちらも記載必須だが、それ以外は扱いが異なる。

赤字：2022年1月からの変更点

項目		Google (デベロッパープログラムポリシーより抜粋(※1))	Apple (App Reviewガイドラインより抜粋(※2))
対象		すべてのアプリ	すべてのアプリ
公開義務化		2022年7月	2020年12月
表示場所		Google Playの各アプリページ	App Storeの各アプリページ
記載 が必 要な 情報	収集するデータの 種類	デベロッパまたはサードパーティパートナーが 収集するデータ全て	デベロッパまたはサードパーティパートナーが 収集するデータ全て
	収集するデータの 用途	必須	必須
	ユーザに紐づけ られるデータ	記載なし	必須
	ユーザのトラ ッキングを 行うデータ	記載なし	必須
	プライバシー ポリシー	必須	必須
	その他(抜 粋)	(任意) 独立したセキュリティ審査を受けた申告 (子どもを対象とするアプリの場合 必須) GooglePlayのファミ リーポリシーに準拠していることを表示	(任意) プライバシー選択; アプリのプライバシー設定のオプ ションや管理方法をユーザーが詳しく確認できる一般公開URL (ユーザーが子どもかどうかなど条件に応じてデータ収集の方針 が異なるといった情報を含む)

※1 「Google Play のデータ セーフティ セクションの情報を提供する」は厳密には「デベロッパープログラムポリシー」に記載されていないが、項目「データ セーフティ セクション」から遷移するページのため、ポリシーの一部として記載

※2 「App Storeでのアプリのプライバシーに関する詳細情報の表示」は厳密には「App Reviewガイドライン」に記載されていないが、「App Storeでのアプリのプライバシーに関する詳細情報の表示」を掲載している同ページにアプリをApp Storeに提出する際に必須と記載があるため、ガイドラインの一部として記載

③データの収集・保存・使用・共有に関する規約

AppleとGoogleそれぞれでデータの収集・保存および使用・共有について定められている。
 どちらもアプリ使用にアカウント作成を要する場合、ユーザーによる削除要件を追加している。

赤字：2022年1月からの変更点

項目		Google (デベロッパープログラムポリシーより抜粋)	Apple (App Reviewガイドラインより抜粋)
データの 収集・保 存	ユーザからの 同意取得義務	必須	必須 (簡単な同意撤回オプション付加義務あり)
	必要最低限のデータ 取得義務	必須	必須
	必要最低限のアカウ ントログイン義務	記載なし	必須
	アカウント削除要件	必須	必須
	その他（一部）	◆ 個人情報や機密情報が必要になることをユーザが合理的に予測できない可能性がある場合、データの収集、使用、共有について、 <u>アプリ内で開示し</u> 、直後に同意をリクエストする義務	◆ アプリを利用してユーザのパスワード等プライベートデータを密かに取得することの禁止 ◆ SafariViewController（Apple指定UI）の使用義務 ◆ ユーザ以外のソースから取得したまたは未同意の個人情報を収集するアプリの禁止
データの 使用・共 有	事前にユーザ許可取 得の義務	必須	必須
	目的外利用の禁止	必須 (ユーザーが合理的に予期する目的に適合するアプリとサービスの機能、およびポリシーにのみ許可する)	必須
	その他（一部）	◆ 特定の操作における個人情報と機密情報へのアクセスに関する制限（表形式の要件）	◆ 未許可のユーザプロフィール構築禁止 ◆ 分析や広告目的でユーザのデバイスにインストールされている他アプリの情報収集の禁止

④特定の条件に該当するアプリに対する規約

Appleに続きGoogleでも、2024年5月に、健康データ等を取り扱う場合の追加ルールが定められる予定である。

赤字：2022年1月からの変更点

項目		Google (デベロッパープログラムポリシー、Play Consoleヘルプより抜粋)	Apple (App Reviewガイドラインより抜粋)
子ども (※1)を 対象とする 場合	法の遵守	<ul style="list-style-type: none"> 法律・規制の遵守義務 (※2) 	<ul style="list-style-type: none"> 法律・規制の遵守義務 (※2)
	データ収集等の制限	<ul style="list-style-type: none"> 子どものデータ収集にあたり情報を開示する義務 (※3) 子どものユーザだけを対象とする場合、位置情報の収集・共有等を禁止等 	<ul style="list-style-type: none"> 法律に準拠する目的のみでの生年月日や保護者の連絡先の要求許可
	広告掲載	<ul style="list-style-type: none"> GooglePlayポリシーへの準拠を自己認定 (Googleがリスト公開) している広告SDKバージョンのみ使用可能 	<ul style="list-style-type: none"> サードパーティ製の分析・広告機能の禁止
	プライバシーポリシー	記載なし	<ul style="list-style-type: none"> プライバシーポリシーの設置義務 (※5)
特定の データを扱 う場合	健康・フィットネス・医療データ	<ul style="list-style-type: none"> ◆2024年5月31日発効予定 プライバシー、詐欺、デバイスの不正使用に関するポリシーに準拠する義務 アプリ内へのプライバシーポリシーの掲載義務 アプリのコア機能と健康関連データの収集との関連性をユーザーに明確に示す義務 アプリのコア機能の実行に必要な、危険な権限を削除する義務 	<ul style="list-style-type: none"> 広告、マーケティング目的等で、使用・共有の禁止 虚偽データが書き込まれないよう配慮する義務 健康に関する臨床調査を実施するアプリでは、参加者本人、未成年の場合は親または保護者から同意を得る義務/独立した倫理審査委員会の適切な承認を得る必要
	位置情報データ	(アプリを通じて取得したデータの収集・使用・共有の目的はアプリ機能の提供や改善に直接関係するもの限定) (※4)	<ul style="list-style-type: none"> アプリの機能またはサービスと直接関連する場合のみに利用限定
	その他データ公開の禁止例	<ul style="list-style-type: none"> 個人の財務情報・支払い情報・政府発行の個人識別番号 (未許可での) 非公開の電話帳や連絡先情報 	記載なし
特定の機能を持つ場合		<ul style="list-style-type: none"> ウイルス対策やセキュリティ機能を持つアプリはアプリ内での開示及び収集データや使用方法、共有先についてプライバシーポリシーへの掲載義務 永続的なデバイス識別子 (SIMシリアル番号等) を収集またはリンクするアプリは他の個人情報等とのリンク禁止 	記載なし

※1 子どもの対象は、GoogleとAppleで共に13歳未満と設定している (日本の場合)

※2 児童オンラインプライバシー保護法 (COPPA) やEU一般Data protection規則 (GDPR) などの法律、およびその他の適用される規制または法律

※3 開示場所については記載されていないが、アプリ内、プライバシーポリシー内に加えてアプリ開発プログラム内 (審査用に記載が必要になると考えられる) と推定される

※4 デベロッパープログラムポリシーにおいて、アプリを通じて取得したデータの収集・使用・共有の目的はアプリ機能の提供や改善に直接関係するもの限定と規定している

※5 現在すべてのアプリにプライバシーポリシー設置義務があるため、念押しで書かれているものと考えられる

⑤ 違反アプリに対する罰則に関する規約

違反の重さに応じて、アプリだけの罰則またはデベロッパのアカウントへの罰則が追加される。

Googleの場合、アカウントが停止されると、収益が受け取れなくなったりアカウント再作成できなくなる重い罰則がある。

赤字：2022年1月からの変更点

違反の例示	Google (Play Consoleヘルプ等より抜粋 (※1))		Apple (App Reviewガイドライン等より抜粋)	
	App	デベロッパ	App	デベロッパ
Appが公開前に規約違反の場合	否認	記載なし	却下	記載なし
【Appの軽微な瑕疵】Appが正常に機能しない、サポートされていない場合など	Google Playから削除	記載なし	App Storeから削除	記載なし
【Appの深刻な瑕疵】Appがユーザに対して詐欺的行為を働こうとする/ユーザの同意なしにデータを共有する場合など	Google Playで公開停止	重大な違反や複数回違反をした場合、アカウント停止の可能性	App Storeから削除	アプリ開発プログラムから除名される場合もある
デベロッパが「デベロッパ行動規範」に違反した行動を行った場合	規定なし (※2)		記載なし	アカウント停止 (※4)
デベロッパが悪質な違反（システムに不正を働こうとした場合など）を行った場合	記載なし		デベロッパのAppはApp Storeから削除	アプリ開発プログラムから除名
デベロッパが不正な操作（Appを利用して密かにユーザのデータを取得する等）、誤解を招く行為、その他の詐欺的な行為を繰り返す場合	デベロッパのAppはGoogle Playから削除	アカウント停止 (収益が受け取れなくなり、同環境でのアカウント再作成不可に)	デベロッパのAppはApp Storeから削除 (※3)	アプリ開発プログラムから除名

※1 Googleでは、動画でおおまかな違反の例示とそれに対する罰則を説明しており、Appleは規約で違反に対する罰則を例示している。ここではAppleの記載に合わせた形でおおよその違反の例示と罰則を記載している。

※2 「デベロッパ行動規範」を設けているのはAppleに限定されるため、規定なしとしている。

※3 この違反事例でAppに対しての罰則は明記されていないが、上の例から同様の罰則が適用されると判断し、このような記載としている。

※4 アプリ開発プログラムから除名される場合と異なり、適切な対応を行うことでアカウントを復元することができる。

3.アプリストアの規約・審査方針の内容、規約の遵守状況の調査

3-1.アプリ提供者向けの規約・ガイドラインの記載内容

3-2.アプリケーションの利用者情報の取扱いに関する具体的な取組み

3-3.実際の審査状況・アプリストアにおける通知とアプリケーション内における通知方法

Googleの利用者情報の取扱いに関する取組み（2022年～24年）

アプリのデータ収集・共有方針について開示義務化、アカウントの作成機能を保有するアプリへのデータ削除ポリシーの追加などAppleに追随する動きを見せている。

OSレベルの動きではプライバシーサンドボックスの提供開始や位置情報のサードパーティ共有の明示等が存在。

分類	取組み概要（年月）	取組み詳細
ユーザデータの取扱いに関する規約等の変遷	「データセーフティセクション」開示の義務化（2022年7月）	<ul style="list-style-type: none"> アプリのデータ収集・共有方針について、Google Playの「データセーフティセクション」で開示を義務化（アプリの申請・公開時に「データセーフティセクション」に表示するための情報提出の義務化）
	アカウントとデータの削除オプション導入（2023年4月）	<ul style="list-style-type: none"> アカウントを作成できるアプリで、アカウントとデータの削除を開始できるオプションの提供が2024年5月31日以降、義務付けられることを公表
	健康アプリに関するポリシー導入（2024年5月予定）	<ul style="list-style-type: none"> 健康アプリのカテゴリに分類されるアプリの新しい要件を追加するために、「健康に関するコンテンツとサービス」に新しい健康アプリに関するポリシーを追加予定
	写真と動画への広範な権限要求できるアプリ審査等ポリシー導入（2024年8月予定）	<ul style="list-style-type: none"> ユーザのデバイス内の写真や動画へアクセスをリクエストするアプリは、公開前に適切なアクセスに関する審査に合格しなければならない、幅広いアクセスを許可しないユーザにも適切に対応するための合理的な努力を尽くす必要がある、といったポリシーを追加予定
OSにおけるユーザデータの取扱	広告識別子「AdID」の今後2年間のサポート方針発表（2022年2月）	<ul style="list-style-type: none"> 広告主が消費者のスマートフォンにターゲット広告を配信してキャンペーンの効果測定を行うために使用するグーグルの広告識別子「AdID（アドID）」を、今後2年間は引き続きサポートすると発表 【2024年3月時点のAdIDに関する状況】Googleから「AdID」のサポート継続や廃止等の方針の更新は発表されていない
	Android向け「プライバシーサンドボックス」への取組み発表（2022年2月）	<ul style="list-style-type: none"> 複数年に渡り Android 向けのプライバシーサンドボックスに取り組んでいくことを発表（時期未定） Android向けプライバシーサンドボックスは、「AdID」などの複数アプリ共通の識別子を使用することなく、利用者データのサードパーティとの共有を制限するもの
	Android13リリース（2022年5月）	<ul style="list-style-type: none"> オーディオ、画像、動画のファイルへのアクセス許可を別々に要求するようにする/動作するために位置情報取得を必須とするアプリの数を減らす/アプリ制作者がさらに積極的に許可の削除ができるようにする/Google Play SDK Index（GoogleによるSDK分析が確認できるパブリックポータル）を導入する/デバイスの設定画面にデバイスのセキュリティとデータのプライバシーのすべてを管理できる機能をロールアウトする/といった機能を付加
	プライバシーサンドボックス初ベータ版をAndroidデバイス向けに提供開始（2023年2月）	<ul style="list-style-type: none"> プライバシーサンドボックスの初のベータ版をAndroid13搭載デバイス向けに提供開始 ベータ版の対象として選択された場合、機能を有効にするか無効にするかを設定から選択可能
	Android14リリース（2023年10月）	<ul style="list-style-type: none"> フォトピッカー強化（アプリ内で未実装でもユーザーの選択で利用可能）/位置情報のサードパーティ共有を明示（より見やすく、共有目的も明示）/ヘルスコネクトで健康データを一元管理/といった機能を付加

Appleの利用者情報の取扱いに関する取組み（2022年～24年）

アプリやアプリ内のサードパーティーSDKが使用するAPIと仕様理由を正確に説明するプライバシーマニフェストの提出の義務付けを2024年5月から行う予定。

上記取組みに先駆けてiOS17の発表に合わせて、アプリ開発者に対してサードパーティーSDKのプライバシーマニフェストを集約化し一覧化する機能提供を行っている。

分類	取組み概要（年月）	取組み詳細
ユーザーデータの取扱いに関する規約等の変遷	アカウントとデータの削除オプション義務化（2022年6月）	<ul style="list-style-type: none"> アカウントの作成に対応したアプリは2022年6月30日以降、ユーザ自身がアカウントとデータの削除を開始できるようにする義務が付加
	「プライバシーマニフェスト」導入（2023年12月）	<ul style="list-style-type: none"> アプリのApp Storeへの提出におけるプライバシー要件のアップデート「プライバシーマニフェスト」を導入。 2024年春以降、App Store Connectに新規アプリまたは既存アプリのアップデートをアップロードする際に、サードパーティーSDKを使用する場合は、該当するAPIをアプリでどのように使用しているかを正確に説明した承認される理由をアプリの「プライバシーマニフェスト」に含めることを義務付け
	「プライバシーマニフェスト」義務付け（2024年5月）	<ul style="list-style-type: none"> 2024年5月1日、「プライバシーマニフェスト」義務付け予定
OSにおけるユーザーデータの取扱	iOS16配信開始（2022年9月）	<ul style="list-style-type: none"> 金銭目当ての国家支援型スパイウェアを開発している民間企業などによる非常に高度なサイバー攻撃の標的になっている可能性があると思われる場合、ユーザによりデバイスの各種機能を止める「ロックダウンモード」搭載 ユーザが素早く情報の共有を停止できる、人ごとおよびAppごとの共有状況を確認およびアップデートができる機能「個人情報安全性チェック」搭載
	iOS17等の各種新機能の発表（2023年6月）	<ul style="list-style-type: none"> iOS17において、心の健康と視覚の健康の機能が搭載されることを発表・写真のプライバシーの許可の機能強化（特定の写真をアプリと共有する、ユーザ選択内容のリマインダーが時折表示される） Safariのプライベートブラウズの大規模なアップデート（デバイスの追跡・特定を防ぐ） 「ロックダウンモード」の拡大（より安全なワイヤレス接続のデフォルト、メディアの取り扱い、メディア共有のデフォルト、サンドボックス化、およびネットワークセキュリティの最適化等）
	iOS17配信開始（2023年9月）	<ul style="list-style-type: none"> 連携するサードパーティSDKが収集したデータをどのように使用するかについて、アプリ開発者に完全な透明性を提供するように設計されているプライバシー機能「プライバシーマニフェスト」の導入 リンク追跡保護機能の導入（リンクの機能は残しつつ、「メッセージ」、「メール」、およびSafariのプライベートブラウズで共有されたリンクから、一部のWebサイトがそのURLでユーザをほかのWebサイトでも追跡するために使用する余分な情報を削除する）
	EU域内でのセキュリティ機能等の付加（2024年1月）	<ul style="list-style-type: none"> EU域内でのiOS、Safari、App Storeに関する変更を発表（デジタル市場法;DMA施行への対応） 対デベロッパ：アプリの配布や決済処理のための新たな選択肢等を提供 対ユーザ：新たなコントロールと情報開示に加え、DMAがもたらすプライバシーとセキュリティ上のリスクを低減するための保護機能の拡張等を提供

ユーザーデータの取扱いに関する規約等の変遷（2022年～24年）

Googleの取組

Appleの取組

13

GoogleもAppleに続けて2022年にすべてのアプリにアプリストア上でプラポリを表示することを義務付け（青字）。
 アプリ内でアカウントを作成できるアプリに関して、ユーザー自身がアカウント削除できるようにする取組み（赤字）。

2022年

2023年

2024年

	2022年	2023年	2024年
プライバシーポリシー設置	Google Playの「データセーフティセクション」にてすべてのアプリにプラポリ設置を義務化（注1）（7月）		
アプリ内アカウント削除機能の追加	アプリ内でアカウントを作成できるアプリに関して、ユーザー自身がアカウントを削除できるようにする要件の運用を開始（6月）	アプリ内でアカウントを作成できるアプリに関して、2024年5月31日以降データ削除要件を導入すると発表（4月）	アプリ内でアカウントを作成できるアプリに関して、データ削除要件を導入義務化（5月予定）
アプリが収集するデータの透明化		サードパーティSDKを使用する場合、サードパーティSDKのデータ収集・用途等を開発者に提出させる「プライバシーマニフェスト」を導入（12月）	「プライバシーマニフェスト」対応をすべてのアプリに義務付け（5月予定）
その他			健康データを収集等するアプリに関して収集データ開示等のルール追加（5月予定） 写真と動画の権限に関するポリシーを導入し、広範な権限を要求できるアプリの数を減らすポリシーに変更（8月予定）

※1 Appleは2018年10月よりAppStore各アプリページにて設置を義務化している。

OSにおけるユーザデータの取扱い/変遷（2022年～24年）

Googleの取組

Appleの取組

AndroidではAdIDを引き続きサポートしつつ、プライバシーサンドボックス導入に向けて取り組んでいる状況（青字）。
Android・iOSともに、ユーザデータへのアクセス制限・管理機能が強化され、詳細な設定が可能になっている（赤字）。

	2022年	2023年	2024年
Android	Android13（5月）	Android14（10月）	-
iOS	iOS16（9月）	iOS17（9月）	-
広告識別子の取得制限	<p>広告識別子（AdID）を今後2年間引き続きサポートすることを発表（2月）（注1）</p> <p>複数年にわたりAndroid向けプライバシーサンドボックスに取り組んでいくことを発表（2月）</p>	<p>プライバシーサンドボックス初のベータ版をAndroidデバイス向けに提供開始（2月）</p>	
	<p>アプリごとに画像の共有範囲を選択できる機能を追加（Android13;5月）</p> <p>動作するために位置情報を要求するアプリの数を減らす機能を追加（Android13;5月）</p> <p>情報共有先を確認、限定、停止できるようにする「個人情報安全性チェック」を搭載（iOS16;9月）</p> <p>高度な標的型攻撃を受ける可能性のある少数の個人に向けた追加のセキュリティ機能「ロックダウンモード」を提供（iOS16;9月）</p>	<p>健康に関するデータを一元管理する「ヘルスコネクト」を組み込み（Android14;10月）</p> <p>位置情報データを利用するアプリについて、第三者との共有状況を通知し、許可の有無を選択できる機能を追加（Android14;10月）</p> <p>メールやSafariでのプライベートブラウズでのリンクのトラッキング保護機能の強化（6月）</p> <p>アプリが写真へアクセスを求めるとき、共有情報が表示されユーザの選択がその後もリマインドされる機能の追加（6月）</p> <p>「ロックダウンモード」の拡大（6月）</p>	
ユーザデータへのアクセス制限・管理			
その他		<p>iOS17において心の健康と視覚の健康に関する機能が追加されると発表（6月）</p>	<p>DMA（デジタル市場法）順守のためにEU域内のユーザーに対して自身のApp Store利用に関するデータを認証を受けた他社に転送することが可能になる等の機能拡張を発表（1月）</p>

※1 2024年3月現在、Googleから広告識別子（AdID）のサポート継続や廃止等の方針の更新は発表されていない。

3.アプリストアの規約・審査方針の内容、規約の遵守状況の調査

3-1.アプリ提供者向けの規約・ガイドラインの記載内容

3-2.アプリケーションの利用者情報の取扱いに関する具体的な取組み

3-3.実際の審査状況・アプリストアにおける通知とアプリケーション内における通知方法

App Store及びGoogle Playにおける審査状況

有識者へのヒアリングや開発者ブログ、ニュース記事等から以下のような審査を実施していることがうかがえる。

App Store、Google Playともに、義務化した内容について審査をしていることがうかがえる。

アプリストア	審査項目	審査内容
App Store	個人情報入力 of 正当性の確認	◆ アプリのコアな機能に関係がないのに、生年月日や誕生日を必須項目として扱っていたため審査に落ちた。実際にサービス上、必須である場合は、異議を申し立てることで解決するが、必須といえない場合は、入力項目をオプションにしておく必要がある※1
	位置情報など利用者情報の取得に関するパーミッションの取得理由や記載内容の確認	◆ 位置情報などプライバシー性の高い情報取得のパーミッションを用いているアプリについては、GoogleやAppleから細かく個別に問い合わせが来て、答えないと聞いている※2 ◆ 初回カメラ起動時に権限付与のためにモーダル表示する文言について、より明示的な説明を求められ、“撮影した画像がアプリ内でどういう用途で使われるのか”というのをはっきり記載する必要があった※3
	アカウントの削除機能の搭載確認	◆ アプリにアカウント作成機能を搭載していたため、以下のようなメッセージが来て、審査が通らなかった※4※5 ➢ 「あなたのアプリはアカウントの作成をサポートしていますが、アカウントの削除を開始するオプションが含まれていないようです。アカウントの作成をサポートするアプリは、App Store ユーザーがアプリの使用中に共有したデータをより詳細に制御できるように、アカウントの削除も提供する必要があります。」
Google Play	ファミリー向けアプリにおける不要な情報の取得確認	◆ ファミリー向けアプリにおいて、広告識別子などを送信していたため、審査が通らない※6
	アカウントの削除機能の搭載確認	◆ アカウント削除が作られていないという指摘を受けて、審査が通らない※7

【出所】

※1 Pentagon「[2022年度版]iOSアプリの審査リジェクト（審査落ち）理由まとめ」（2022年3月）

※2 ファンコミュニケーションズ二宮氏へのヒアリング（2024年3月）

※3 Hatena Blog「tomoima525's blog：初回のAppStoreレビューで7回リジェクトされたので項目と対応をまとめとく」（2021年5月）

※4 notel「ring:2023年のリジェクトを振り返る」（2023年5月）

※5 halzoblog「iOS審査：Guideline 5.1.1(v) - Data Collection and Storageの違反指摘でリジェクト」（2023年9月）

※6 Zenn「[Google Play]ファミリー ポリシーに違反：識別子の送信を行ってはなりません【Amplitude】」（2023年7月）

※7 Zenn「いまさら Google Play のアカウント削除要件について見ていく」（2024年2月）

アプリストアやアプリにおける通知の仕組みの整理

規約に記載されている内容等を踏まえて、GoogleとAppleが現状、アプリストア上やアプリ内において提供している利用者情報の取扱いに関する通知の仕組み※を整理した。

※2社が提供している通知の仕組み全般を対象として取り上げている（本調査の中でベストプラクティスとして抽出した内容ではない点に留意が必要）。

	Google	Apple
<p>アプリストア上で提供している通知の仕組み</p>	<p>Google Play</p> <ul style="list-style-type: none"> プラポリのリンクの掲載 アプリの取得情報・目的の通知「データセーフティセクション」 子ども向けアプリのポリシー順守状況の掲載 アプリインストール時に取得情報の同意画面のポップアップ表示 	<p>App Store</p> <ul style="list-style-type: none"> プラポリのリンクの掲載 アプリのプライバシーに関する詳細情報の表示
<p>アプリ内で提供している通知の仕組み</p>	<p>Android</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報取得に対する同意取得画面のポップアップ表示 	<p>iOS</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報取得に対する同意取得画面のポップアップ表示 トラッキングに対する同意取得画面のポップアップ表示

Google Playでは、個別のアプリケーションの紹介ページから、詳細ページに飛ぶことができ、そこからプライバシーポリシーのリンクが掲載されている。

アプリケーションの紹介ページでの表示

データ セーフティ →

データの安全は、デベロッパーによるユーザーデータの収集、共有方法を理解することから始まります。データのプライバシーとセキュリティの方針は、アプリの使用方法、ユーザーの年齢やお住まいの地域によって異なることがあります。この情報はデベロッパーから提供されたもので、更新されることがあります。

- このアプリはサードパーティと以下の種類のデータを共有することがあります
デバイスまたはその他の ID
- このアプリは以下の種類のデータを収集することがあります
位置情報、個人情報、他 9 件
- データは送信中に暗号化されます
- データを削除するようリクエストできます

[詳細を表示](#)

紹介ページからリンクされている詳細ページ

セキュリティの方針

- データは送信中に暗号化されます
データは安全な接続を介して送信されます
- データを削除するようリクエストできます
データを削除するようデベロッパーにリクエストできます

データの収集と共有について詳しくは、デベロッパー [プライバシー ポリシ](#) をご参照ください

Google Playのアプリケーション紹介ページに「データセーフティ」の枠組みがあり、「詳細を表示」をクリックすれば、共有されるデータや収集されるデータの具体的項目や目的を個別に記載が確認できる。

アプリケーションの紹介ページでの表示

データセーフティ →

データの安全は、デベロッパーによるユーザーデータの収集、共有方法を理解することから始まります。データのプライバシーとセキュリティの方針は、アプリの使用方法、ユーザーの年齢やお住まいの地域によって異なることがあります。この情報はデベロッパーから提供されたもので、更新されることがあります。

- このアプリはサードパーティと以下の種類のデータを共有することがあります
デバイスまたはその他のID
- このアプリは以下の種類のデータを収集することがあります
位置情報、個人情報、他 9 件
- データは送信中に暗号化されます
- データを削除するようリクエストできます

[詳細を表示](#)

紹介ページからリンクされている詳細ページ

データセーフティ

このアプリが収集、共有する可能性があるデータの種類と、アプリに適用されるセキュリティの方針について、デベロッパーから提供された情報が記載されています。データの取り扱いは、アプリのバージョンや使用方法、ユーザーの年齢やお住まいの地域によって異なることがあります。 [詳細](#)

共有されるデータ

他の企業や組織と共有される可能性があるデータ

- デバイスまたはその他のID
デバイスまたはその他のID

共有されるデータとその目的

- デバイスまたはその他のID
広告、マーケティング

収集されるデータ

このアプリで収集される可能性があるデータ

- アプリのアクティビティ
アプリインタラクション数、アプリ内の検索履歴、その他のユーザー作成コンテンツ、その他の操作

Google Playでは、子ども向けアプリの場合、アプリケーションの紹介ページからPlayファミリーポリシーへ順守していることが確認できるようになっている。

アプリケーションの紹介ページでの表示

データ セーフティ →

データの安全は、デベロッパーによるユーザーデータの収集、共有方法を理解することから始まります。データのプライバシーとセキュリティの方針は、アプリの使用方法、ユーザーの年齢やお住まいの地域によって異なることがあります。この情報はデベロッパーから提供されたもので、更新されることがあります。

- 🔗 第三者と共有されるデータはありません
詳しくは、デベロッパーが共有を申告する方法についての説明をご覧ください
- 📁 このアプリは以下の種類のデータを収集することがあります
位置情報、個人情報、他 4 件
- 🔒 データは送信中に暗号化されます
- 🗑️ データを削除するようリクエストできます
- 😊 Play ファミリー ポリシーの遵守に努めています
- 🛡️ 独自のセキュリティ審査

[詳細を表示](#)

紹介ページからリンクされている詳細ページ

🔒 セキュリティの方針

- 🔒 データは送信中に暗号化されます
データは安全な接続を介して送信されます
- 🗑️ データを削除するようリクエストできます
データを削除するようデベロッパーにリクエストできます
- 😊 **Play ファミリー ポリシーの遵守に努めています**
このアプリのデベロッパーは Play ファミリー ポリシーの遵守に努めています。 [ポリシーを表示](#)
- 🛡️ 独自のセキュリティ審査
このアプリは世界的なセキュリティ標準に照らし合わせて、独自の検証を行っています。 [詳細を表示](#)

Google Playではアプリのインストール時に、アプリの取得情報等が表示され、ユーザの同意取得を得る仕組みとなっている。

アプリインストール時に表示される情報取得に関する確認・同意の取得画面



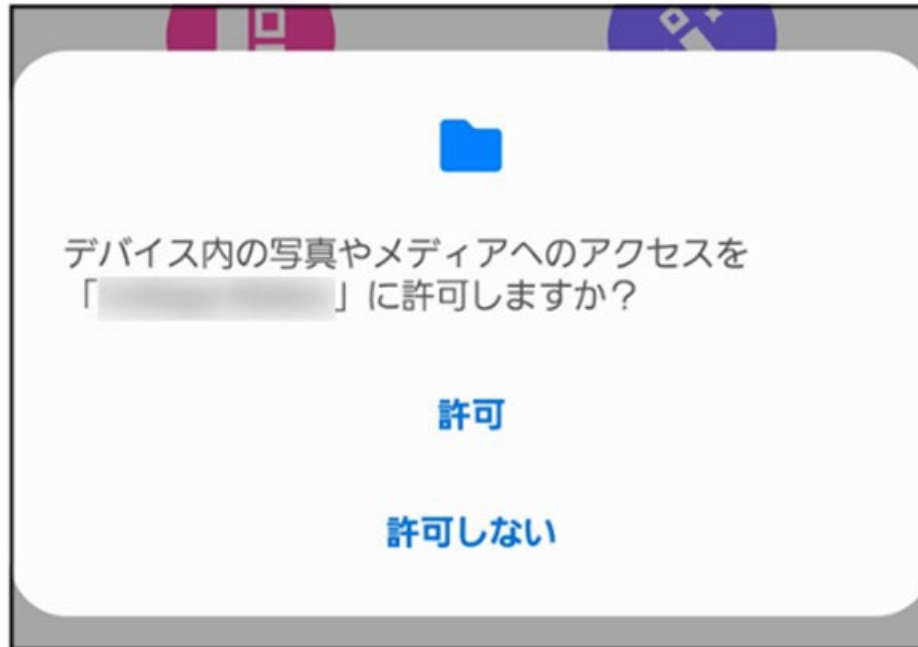
Androidスマホに新しいアプリをインストールするときや初めてアプリを使うとき、

「このアプリに○○の権限を与えることを許可しますか？」

「デバイス内の○○にへのアクセスを許可しますか？」

Androidアプリでは、アプリが情報にアクセスしデータを取得する際に、以下のような同意取得のためのポップアップが表示される。

情報取得・アクセスに対する同意取得のポップアップ表示



【Apple×アプリストア】プラポリのリンクの掲載

App Storeにおいては、アプリケーションの紹介ページの下部「情報」セクションにおいて、プライバシーポリシー等のリンクを確認できる。

App Storeにおけるプライバシーポリシー等のリンク表示画面

情報

販売元 LINE Corporation	サイズ 334MB	カテゴリ ソーシャルネットワーキング
互換性 iPhone iOS 15.0以降が必要です。	言語 日本語、アラビア語、イタリア語、インドネシア語、スペイン語、タ イ語、トルコ語、ドイツ語、フランス語、ベトナム語、 ホ さらに見る	年齢 12+ まれ／軽度な医療または治療情報
iPad iPadOS 15.0以降が必要です。		
iPod touch iOS 15.0以降が必要です。		
Apple Watch watchOS 8.0以降が必要です。		
Copyright © LY Corporation	価格 無料	アプリ内課金有り 1. 50 LINE Coin ¥150 2. 100 LINE Coin ¥300 3. 150 LINE Coin ¥450 さらに見る

[デベロッパWebサイト](#) [アプリサポート](#) [プライバシーポリシー](#)

【Apple×アプリストア】アプリのプライバシーに関する詳細情報の表示

App Storeでは、アプリのプライバシーというセクションが用意されており、同セクション内では、「ユーザのトラッキングに使用されるデータ」、「ユーザに関連付けられたデータ」という2つの枠組みで、アプリが取得する情報がアイコンで一覧化されている。さらに「詳細を表示」をクリックすると、取得情報の詳細などが確認できる。

アプリケーションの紹介ページでの表示

アプリのプライバシー 詳細を表示

デベロッパである [会社名] は、アプリのプライバシー慣行に、以下のデータの取り扱いが含まれる可能性があることを示しました。詳しくは、[デベロッパプライバシーポリシー](#)を参照してください。

ユーザのトラッキングに使用されるデータ

次のデータは、他社のアプリやWebサイトでユーザをトラッキングする目的で使用される場合があります：

- ID

ユーザに関連付けられたデータ

次のデータは収集され、ユーザの識別情報に関連付けられる場合があります：

購入	位置情報
連絡先情報	連絡先
ユーザコンテンツ	検索履歴
閲覧履歴	ID
使用状況データ	診断
その他のデータ	

紹介ページからリンクされている詳細ページ

ユーザのトラッキングに使用されるデータ

次のデータは、他社のアプリやWebサイトでユーザをトラッキングする目的で使用される場合があります：

- ID
 - ユーザID
 - デバイスID

ユーザに関連付けられたデータ

次のデータは収集され、ユーザの識別情報に関連付けられる場合があります、さらに以下の目的で使用される場合があります：

サードパーティ広告

- 位置情報
 - 詳細な位置情報
 - おおよその場所
- 連絡先情報
 - メールアドレス
 - 電話番号
- 検索履歴
 - 検索履歴
- 閲覧履歴
 - 閲覧履歴
- ID

【Apple×アプリ】ポップアップによる情報取得やトラッキングに対する同意

iOSでは、アプリが情報にアクセスする際に同意取得のポップアップが表示される。またトラッキングする際に同意取得のポップアップも表示される。

情報取得・アクセスに対する同意取得のポップアップ表示

アクセス許可の取得画面



【補足】

- ◆ 左記の部分に記載が無いと、アプリ公開の申請を実施した際に、機械的にリジェクトされる模様
- ◆ 開発者向けリファレンスにも下記のような記載が存在
 ” To protect user privacy, an iOS app linked on or after iOS 10.0, and which accesses the user’s photo library, must statically declare the intent to do so.
 <中略> If your app attempts to access the user’s photo library without a corresponding purpose string, your app exits. ”
 ※上記は“photo library”に関する記載だが、他の情報についても同様の記載が存在

AppTrackingTransparency (ATT) におけるトラッキングに対する同意取得のポップアップ表示

